

私たちはみんな、
海から生まれた――

ここにいる、生きている。

消えゆく海藻の森に導かれて

横浜国際映画祭 2025
YOKOHAMA INTERNATIONAL
FILM FESTIVAL
正式出品

文部科学省選定
(青年向き・成人向き・家庭向き)



124499

「海が死んでいる。」

ある日、地元のサーファーがこう話すのを耳にした長谷川友美監督は、
たった一人でカメラを担ぎ、導かれるように海から海へと撮影を重ねていった。
やがてダイビングのライセンスを取得し、水面下に潜った彼女が目にした世界とは――。

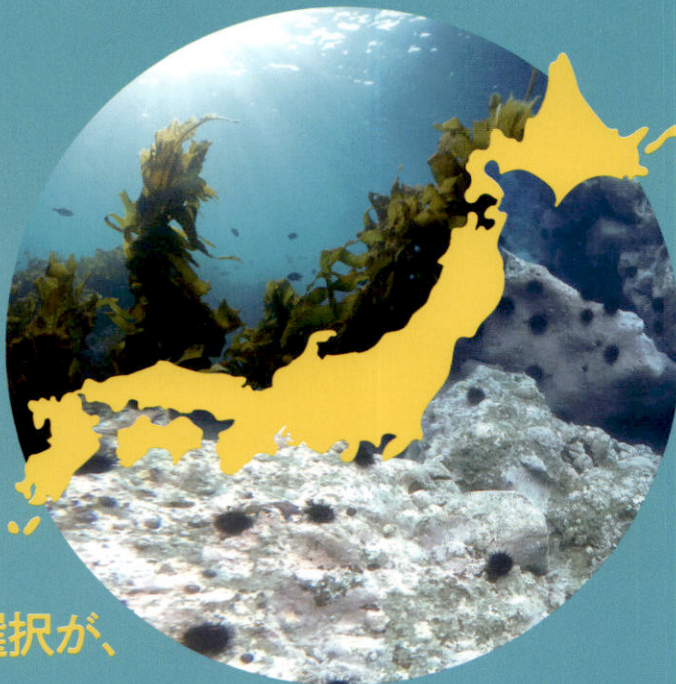


日本の海からコンブが消える？ 海の砂漠化が問いかける、自然と人の新たな関係。

「海の砂漠化」
って何だろう？

日本の海岸には、
コンブやワカメなど、約1500種
類もの多様な海藻が生息して
いるといわれています。

海の砂漠化とは、海中に広がる
「海藻の森」が減少し、まるで砂
漠のような状態になってしまう現
象のことです。一般的に「磯焼け
(いそやけ)」と呼ばれています。



目に見えない限り人の行動は変わらない。
この映画を通して多くの人が海の変化を知り、
未来を変えていく力になることを願います。

フリーダイバー (2012年フリーダイビング日本代表選手) 武藤由紀

私たち世代の選択が、 未来を変える。

海の異変を学び、これからのヒントを探す旅へ。さあ、出発です。

海のゆりかごとも呼ばれる海藻。その海の命を育む「海藻の森」が、ここ数年、全国各地の海で急速に砂漠化している。このままでは、海の生態系全体の存続が危ぶまれる。地球温暖化が肌で感じられ、気候変動が刻々と進む今、私たちは「どんな未来」を次の世代へと手渡してゆくのか。海とゆかりのなかったひとりの映画監督が、何かに突き動かされるように日本列島の沿岸部に足を運び、そこに住む子どもたち、漁師、研究者と語り合った。海辺に住む人も、海のない街に住む人も、日本に住むすべての人必見のドキュメンタリー。



【監督・撮影・編集・ナレーション】長谷川友美 【音楽】イアン・ハートリー 【プロデューサー】大野裕子 大野康介 【製作】株式会社 No.0 【配給宣伝】one's (一般社団法人映像文化革新機構)
【宣伝協力】安藤亘 (ECOS技術士事務所) 【後援】国立環境研究所/ジャパンブルーエコノミー技術研究組合/北海道函館市/港湾空港技術研究所/神奈川県逗子市
文部科学省選定 (青年・成人・家庭向き) 2024年 | 1:1.85 | 103分 | 5.1ch | DCP

umimori_cinema umimori_cinema <https://umi-mori.com>

